

# ひとを育てる活動

## - 公立ハイスクールを卒業のミアソン寮生 -



今年はミアソン寮生のうち8名が公立JD エスコピヨハイスクールを卒業しました。キアミ出身のマイラ(写真一番右)は、学年で5番目と好成绩で、カレッジ進学を希望しています。現在8名(13口)の会員で、13名のカレッジ奨学生を支えています。今年卒業生がいなかったため、マイラなど新入生の受け入れ枠がありません。カレッジ奨学金支援者を追加募集中です。

## 今年小学校を卒業した奨学生は4名でした



うち写真のビリリアンは、アトモロック小を3番で卒業、6月からは、坂を下って2時間ほどのところにあるミアソン寮に入り、公立ハイスクールへの進学を希望しています。小学生時代は教育全体支援で支えました。6月からのビリリアンのハイスクール奨学金支援者を募集しています。

### 奨学生別用途報告(2013年度抜粋) 数字は年額(単位千円)

#### マリー・グレース (GFI カレッジ2年数学科・バジェット寮)

授業料	食費	文具	交通費	体操服	課題費	合計
31.3	18.9	0.9	15.0	2.3	2.0	70.4

#### マイラ (JD エスコピヨ公立ハイスクール4年・ミアソン寮)

授業料	食費	文具	交通費	課題費	雑費	合計
4.0	4.4	1.1	2.1	2.4	2.0	16.0

#### カレン(ティボリ町バグ公立ハイスクール2年・自宅通学)

授業料	食費	文具	交通費	課題費	雑費	合計
3.1	0	0.9	3.5	6.7	1.5	15.7

#### アンドリュー (ティボリ町公立バグ小学校5年・自宅通学)

授業料	食費	文具	交通費	課題費	雑費	合計
1.0	0	0.8	0.5	0.9	0.3	3.5

自宅からの通学は食費はかからないが、交通費が高くなるケースが多く、都市部のバジェット寮生活は食費が高みます。寮生の交通費は通学だけでなく年2-3回の帰省費補助を含みます。

## 看護師養成 JOFPA 基金始動

昨年6月、JOFPAの活動終了にあたり、当団体が引き継いだ残余資金220万円は、人材育成用という用途特定の寄付として、理事会でその用途詳細を検討してきました。昨年度は緊急性が高いということで、COWHED旧事務所を、不足するSCMSI学生寮に改築する経費に約10万円を使用させていただきました。残り、210万円については、山間僻地や沿岸部ムスリムの村で働く看護師養成に充当することが決まり、奨学生募集概要(案を)現地に提示しました。

当団体现地パートナーは、ナバルタビ織組合を含めて大小6団体ありますが、この事業は長期にわたる奨学生指導、当団体への報告、また、受領した奨学金の10%と決めた償還義務モニターが可能と思われる団体に限定することになり、レイクセブのチボリを対象とするSCMSI、チボリとビラーンのCMIP、モロ民族のPIHSに募集要項案を送りました。

看護師でもあるPIHS代表のナプサさんからは、助産師育成も必要だが、看護師の方がより広範な医療行為ができるからと、看護師コースがある近隣3大学の情報提供をいただきました。早速、人選に入ったようで、4名が候補に挙がっているそうです。

CMIPも学力面で基準を上回る学生がいた場合、ぜひ応募させたいということでした。

JOFPAカレッジ奨学金で看護師を育てたこともあるSCMSIからは、今年該当者がいないという連絡を昨日受け取りました。

## < カレッジ卒業生の近況から >

- \* HANDS支援による国家試験合格1期生のエドウィンは、ビラーンの村キアへの公立小教師をしながら、週末は大学院に通っています。ジェネラルサントスまでは、何度も川を渡り3-4時間かかるため、週末の大学院通いは、かなり厳しいと思いますが、会計士のクリストファー含めて、このところ、自力で大学院進学等ステップアップを目指すビラーンの卒業生が増えていることは、後輩の励みになり、嬉しいニュースです。
- \* 教師国家試験合格のジミーは実家に近いキナム村公立ハイスクールで教えたいと就職活動中です。
- \* バランガイ議員に当選のスヌーリアからは、村のデイケア(幼稚園・保育園)とヘルスセンター建設に忙しいが、5月の元奨学生の同窓会では、懸案の後輩のための奨学金基金案をまとめたいということでした。